



士別翔雲高校だより

学校通信 第177号 令和7年 8月26日(火)発行 校訓「一步前へ」

令和7年度翔雲祭 優勝は青雲！

7月3日(木)から5日(土)までの3日間、令和7年度翔雲祭が開催されました。今年のテーマは「青春してイイじゃん」。学年やクラスを超えた協力のもと、まさに“青春”を体現する祭りとなりました。

7月3日(木)の前夜祭では、市内を8基の行灯が練り歩きました。途中でライトが消えるなどのトラブルもありましたが、生徒たちは協力して対応し、最後まで立派に歩き切りました。夜には花火が打ち上げられ、祭りの雰囲気を一層盛り上げました。

7月4日(金)は生徒会執行部によるオープニングの後、雲隊PRと1・2年生のクラス発表が行われました。1年生は初めての発表に緊張しながらも全力を尽くし、2年生は昨年の経験を活かして、より完成度の高い発表を披露しました。最後には生徒会企画の抽選会で盛り上がりました。

7月5日(土)の一般公開日には、クラスパビリオンに長い列ができ、校内は活気にあふれました。生徒玄関前にはキッチンカーが並び、PTAによるドリンク販売も行われ多くの来場者でにぎわいました。3年生のステージ発表は、どのクラスも集大成にふさわしい素晴らしいパフォーマンスでした。

ご来場いただいた保護者・地域の皆様に心より感謝申し上げます。翔雲祭は、生徒たちにとってかけがえのない思い出となりました。



ゴールバーン短期留学

7月24日(木)から8月3日(日)にかけて、士別市の姉妹都市であるオーストラリア・ゴールバーン・マルワリー市にて、1年生5名、2年生1名、3年生1名が短期留学を行いました。現地ではホストファミリーに温かく迎えられ、共に生活しながら、現地校の生徒と同じ授業にも参加しました。はじめは緊張もありましたが、英語でのコミュニケーションにも少しずつ自信を持ち、文化の違いを楽しみながら積極的に交流する姿が見られました。日本では味わえない体験に日々刺激を受け、生徒たちは笑顔あふれる充実した毎日を送っていました。異文化に触れ、価値観の広がる学びの多い11日間となりました。

全学年夏期講習&3年生耐久学習会

7月19日(土)から20日(日)にかけて、第3学年希望者を対象とした耐久学習会を士別市生涯学習情報センターいぶきにて実施しました。大学入試に向けた講習と自習を繰り返す密度の濃い2日間となり、生徒たちは集中して学習に取り組みました。また、全学年を対象にした夏季講習も並行して行われ、生徒一人ひとりが学力向上を目指して努力する姿が見られました。これらの学習機会を通じて、自学自習の習慣を身につけ、進路実現に向けた意識をさらに高めることができました。



「大学入試特集」～学校推薦型選抜の小論文対策～

名寄市立大学保健福祉学部教養教育部 教授 石川 貴彦氏

学校推薦型選抜において、特に小論文を試験で課す大学が多いことから、今回のコラムでは小論文対策について述べていきます。

小論文は、指定された文字数で、課題文の要約や自身の意見などを制限時間(大学によりますが600～1000字程度の範囲内で、60～90分の制限時間)内に論述する試験です。出題形式は大学によって異なり、大きく分けて①テーマ(キーワード)形式、②課題文形式、③データ・グラフ読み取り形式があります。①はキーワードのみが示され、「少子高齢化について」「生成AIについて」など、日頃から社会問題に関心があり、自身の考えを持っているかを評価します。この出題形式の場合、キーワードのことを知らないとい何も書けずに苦戦しますが、よく知っていると自身が有する知識を根拠に詳しく述べるができるため、テーマへの理解の差が如実に小論文の内容に反映します。まずは新聞やニュースなどから広く情報収集していくことが対策になります。

②は、最初に1000～2000字程度の文章が提示され、それを読んでから、要約や自身の考えなどを記述する形式です。この場合は①のようにキーワードを知っているかどうかよりも、課題文で示されている著者の意見や主張に対して、自身はどう考えるかが重視され、例えば、賛成か反対かといった立場を最初に表明して、後に理由を述べていく書き方が一般的です。ただし、著者の意見に全面的に賛成し、自身も追従して賛成意見を述べる展開に陥ってしまうと、出来上がった小論文は、課題文の内容を自分の言葉で書き換えただけということも少なくありません。それを避けるためには、やはり自身の考えや、その根拠となる自身の経験などを小論文の中に織り交ぜていく必要があり、独自性を出していくことが求められます。

そして③は、統計資料やグラフを見て、そこから何が言えるのかを分析し、その分析結果に対して何が影響しているのか、どうしたら改善されるのかなどを考察するというものです。提示されるデータには因果関係があることが多く、その関係性に気付いて解説できるかがポイントになります。例えば、ある感染症の年齢別相談件数が20歳代よりも70歳代が多いというデータと、持病が20歳代よりも70歳代が多いというデータが示されたとします。この2つのデータから、70歳代は持病を気にして感染症の重症化を不安視し、それが相談件数の増加をもたらしたということを分析し、持病がある高齢者の感染症予防に重点を置くといった考察につなげていけるかという一連の流れです。出題に用いるデータは各省庁のホームページ等で公表している統計資料が多く、こうしたデータに幅広く触れておき、傾向をつかむことが対策になっていきます。

このように、小論文の出題形式の違いから、各大学でどのような人材を求めているのかといった特徴が出ますので、①ならば社会問題に対する日常的な関心を、②ならば他者の意見に対する自身の考えを、③ならばデータを解釈・分析し、妥当性のある考察をというように、小論文を通じてどのような力を測ろうとしているのかを把握しておくことが、対策の第一歩となります。

この通信は阿部新聞店様、道新平中販売所様、鈴木販売所様のご厚意により、地域の皆様に無料にて配布させていただいております。
〈発行者〉北海道士別翔雲高等学校 担当：総務部 〈電話〉0165-23-2914 〈FAX〉0165-23-2911
〈E-mail〉s-shoun@hokkaido-c.ed.jp

※上記のホームページ(もしくは右記のQRコード)でカラー版をご覧ください。



士別翔雲高校ウエイトリフティング部・国際局・新聞局 全国大会出場！

8月8日(金)から8月11日(月)にかけて、第72回全国高等学校ウエイトリフティング競技選手権大会が、鳥取県米子市の米子コンベンションセンターで開催されました。

本校からは男子3選手、女子1選手の計4選手が出場し、73kg級で石川英虎さん、81kg級で中遥陽さんが優勝という立派な成績を収めました。

さらに、男子学校対抗では得点50点を獲得し、北海道勢として初めての優勝を飾る歴史的快挙となりました。昨年に続き3年連続での入賞です。

石川さんは、「個人として優勝を果たすことができ大変嬉しく、北海道勢初の学校対抗優勝という快挙を達成できたことを誇りに思います。国民スポーツ大会に向けても気を引き締め、さらに練習を重ねて頑張っていきたいと思います。」と話していました。

石川さんと中さんは、10月2日(木)から滋賀県で開催される国民スポーツ大会に、北海道代表として出場します。

結果は以下の通りです。

氏 名	学 年	ベ ス ト				トータル	順 位
		S	順位	J	順位		
男子【73kg級】							
石川英虎	3	116	2	145	1	261	1
男子【81kg級】							
中 遥陽	3	121	1	144	2	265	1
男子【89kg級】							
朝妻悠生	3	97	22	113	30	210	26
女子【64kg級】							
中川智咲子	1	65	6	0			



7月28日(月)から7月30日(水)にかけて香川県で行われた、第49回全国高等学校総合文化祭に本校新聞局が出場しました。全国の新聞部や新聞委員会、新聞局の代表が集まり、香川県各地について取材し、交流新聞の作成を行ってきました。会場では本校新聞局員が作成した「翔雲」が展示されました。開会式では、全国新聞専門部主催「年間紙面審査」入賞校の表彰が行われ、本校新聞局は優良賞を受賞しました。



6月19日(木)・20日(金)に札幌で開催された「第42回全国商業高等学校英語スピーチコンテスト北海道予選大会」において、本校国際局4名が出場しました。

レシテーション部門(指定された文章の暗唱)では、2年B組の庄司明玲さんが見事優勝を果たし、1年B組の古城琴音さんも第6位に入賞しました。また、スピーチ部門(自作原稿のスピーチ)では、1年A組の林幸輝さんと2年A組の高橋穂実さんがそれぞれ佳良賞を受賞し、出場した4名全員が入賞を果たしました。

庄司さんは、9月に東京で開催される全国大会へ北海道代表として出場することが決まりました。全国大会は、各都道府県の部門優勝者のみが出場することができる、大変名誉ある機会です。



全国高校野球選手権

7月12日(土)、第107回全国高等学校野球選手権大会北北海道大会1回戦が旭川スタルヒン球場で行われ、全校応援のもと野球部は釧路江南高校に勝利しました。炎天下の中、吹奏楽局の演奏と全校生徒の声援が球場に響きました。続く14日(月)の準々決勝では、自主応援に多くの生徒が駆けつけ、旭川龍谷高校を破り準決勝進出を果たしました。

21日(月)の準決勝ではエスコンフィールド北海道で白樺学園高校と対戦し、2度目の全校応援が行われました。士別市からのバスツアーには多くの市民の皆様に参加していただき、地域を挙げた熱い応援をいただきました。温かいご声援、誠にありがとうございました。結果は惜しくも敗退となりましたが、選手たちは最後まで全力で戦い、素晴らしい試合を見せてくれました。



【9月行事予定】

- 2日(火) 前期期末考査(～9/5)
- 5日(金) 3年大学入学共通テスト説明会
就職応募書類提出開始
- 6日(土) 当番校業務(新人戦弓道) (～9/7)
- 8日(月) 生徒会選挙告示
身だしなみ指導・いじめアンケート④
3年秋期講習(～12/12)
- 10日(水) 生徒会役員選挙
- 12日(金) 3年マーク模試前日実施
- 13日(土) 3年ベネッセ・駿台大学入学共通テスト模試①
- 14日(日) 3年小論文模試③、2年公務員模試①
- 15日(月) 敬老の日、中学生体験入学(部活動体験)
- 16日(火) 公開授業週間(～9/22)、就職選考開始
授業料・諸納金口座振替日、図書館バス
- 18日(木) 生徒会役員認証式(5短)
- 19日(金) 参観日
- 20日(土) 数学検定②
- 22日(月) HR役員選出【後期】
- 23日(火) 秋分の日
- 24日(水) 総ビ(2年)インターンシップ(～26日)
普通科(2年)インターンシップ(～25日)
- 25日(木) 1年進路先見学会
- 27日(土) 3年全統記述模試③、3年大学・看護学校共通模試④
- 28日(日) 全商情報処理検定①
- 29日(月) 前期終業式
- 30日(火) 体育祭

【10月行事予定】

- 1日(水) 学期間休業
- 2日(木) 後期始業式
- 3日(金) 1・2年スタディーサポート②
進路マップ②、進路希望調査②
- 4日(土) 土曜授業、中学生体験入学、英検②一次
- 11日(土) 3年ベネッセ・駿台記述模試②
- 13日(月) スポーツの日
- 14日(火) 図書館バス
- 15日(水) 授業料口座振替日、2年ピアサポート、避難訓練②
- 16日(木) 食育調理実習1D
- 17日(金) 食育調理実習1A、3年マーク模試前日実施
- 18日(土) 3年全統共通テスト模試③
- 19日(日) 開校記念日
- 22日(水) 食育調理実習1B
- 23日(木) 食育調理実習1C
- 24日(金) 2年見学旅行結団式
3年マーク模試前日実施
- 25日(土) 3年ベネッセ・駿台大学入学共通テスト模試③
- 27日(月) 2年見学旅行(～10/31)
- 31日(金) 3年マーク模試前日実施



～お知らせ～

9月19日(金)
公開授業を開催します。
8:55～15:20
昼休み
12:45～13:30
事前の申込みはこちらからお願いたします。



10月4日(土)
中学生体験入学を開催します。

9月上旬までには中学校を通してご案内します。
お忙しい折とは存じますが、ぜひお気軽にご参加ください。